

酸性スフィンゴミエリナーゼに着目した リピドミクスによる新生児疾患の病態解明

1. 研究の対象

2024年8月23日～2029年12月31日に当院NICUへ入院された方

2. 研究目的・方法

新生児の病気には、いまだに有効な治療法のない疾患があります。秋田大学小児科では「酸性スフィンゴミエリナーゼ」という酵素に注目して、研究を行っています。この酵素は、体の中の、炎症・細胞死・ストレス反応に関わっています。この酵素と、その酵素反応が関わる「スフィンゴ脂質」という物質が、新生児の病気の、新しい治療薬開発や病態解明につながる可能性があると考えています。

この研究では、NICUに入院されたお子様を対象に、診療のために行った血液検査の余った血液を使用して、酸性スフィンゴミエリナーゼの酵素活性と、スフィンゴ脂質の量を測定して、病態との関係性を調べます。この研究のために、お子様の採血負担が増えることはありません。

研究実施期間：2024年8月23日～2029年12月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2024年8月23日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液

情報：在胎週数、出生体重、性別、胸部レントゲン所見、エコー所見、頭部MRI画像所見、カルテ番号 等

試料である血液は、診療の血液検査の残りを使用します。研究で使用する試料・情報は、研究の中止または終了後5年が経過する日までの間、小児科研究室に保管します。保管する試料・情報からは氏名、生年月日などの個人を特定できる情報を削除して保管し、個人情報漏洩することがないように、厳重に管理いたします。保管期間後は、個人情報に十分注意して、試料については個人識別情報を削除したのちその試料の種類に応じた適切な方法で廃棄し、情報についてはコンピュータから専用ソフトを用いて完全抹消し、紙媒体はシュレッダーにて裁断して廃棄します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学医学部附属病院内研究責任者・研究責任者：加藤 明英

所属：秋田大学大学院医学研究科小児科学講座

住所：秋田市本道 1-1-1

電話番号：018-884-6159（小児科医局直通）

受付時間：平日 10-15 時

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀨 友則